

2022年11月18日

朝日カルチャー 野外の自然観察
～秋月 晩秋・筑前の小京都を散策する～

(スタッフ:手寫, 高田)

秋月は町全体が「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている、全国でも珍しい特徴を持ったところです。散策する道もよく整備され、道沿いの樹木・草花も手入れが行き届いている感じでした。今回は、野草の他に秋の園芸種・紅葉の不思議・城下町ならではの樹木や建造物等に、焦点を当てることになりました。当日は、気持ちの良い秋晴れで風もなく、絶好の散策日和でした。初参加の方もおられ、集合場所の眼鏡橋の所からスタート。まずは有名な眼鏡橋の由来を紹介し（寅さんの映画のロケにも出ました）、国道をゆっくり歩きました。狭い道ですが趣のある店や秋の草花が庭先に見られたりして、あちこちで写真を撮られている姿も見られました。ニシキギが特徴のある枝や実を見せているのが、町の雰囲気合っている感じでした。しばらく行って脇道に入り、のどかな田畑を通して浄覚寺へ。見事な紅葉の前で、手寫さんから黄葉・紅葉の仕組みについてわかりやすく解説がありました。また、お寺の石垣にはツタ類が多くそれについて



でも色々なお話が…この通りは観光客は少ないのですが、武家屋敷の面影が残り雰囲気を楽しめる裏道です。途中、昭和レトロな雑貨店やおしゃれなカフェを横目に見つつメインストリートを目指しました。沿道の庭先で丁度庭木のお手入れをされている方もお話を交わしながら、のんびりと散策していきました。トイレ休憩後、秋月城跡そばの長屋門前にある大きなイヌマキの前に集合。イヌマキについての解説を資料を見ながら聞き、人と木との関わりについてあらためて気づかされました。これ程大きなイヌマキは珍しいとのことでしたが、この地域は他にも立派なイヌマキが見られました。昼食は、団体で入るところがないため別行動でしたが、午後秋月博物館に集合し、館内を1時間程見学した後、丁度バスの時間が近づいていたので解散となりました。秋の草花もたくさん見られましたが、それ以上に紅葉や秋の空、さわやかな空気、きれいな街並みに癒される1日となりました。



(文：高田)